

上場会社名 藤森工業

コード番号 7917

URL <http://www.zacros.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 布山 英士

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 管理部門管掌

(氏名) 吉野 彰志郎

TEL 03-6381-4211

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	47,026	△0.1	3,496	△19.3	3,516	△18.6	2,175	△22.7
28年3月期第2四半期	47,080	1.7	4,332	4.4	4,319	△5.1	2,813	△6.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,599百万円 (△50.2%) 28年3月期第2四半期 3,214百万円 (16.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	114.29	113.42
28年3月期第2四半期	146.83	145.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	94,203	56,680	57.2	2,832.55
28年3月期	88,524	53,881	59.8	2,781.02

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 53,910百万円 28年3月期 52,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	33.00	—	33.00	66.00
29年3月期	—	33.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	33.00	66.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	4.7	7,800	△4.4	7,550	△6.3	4,650	△5.5	244.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) PT Kingsford Holdings 、除外 1社 (社名)
(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	19,267,760 株	28年3月期	19,267,760 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	235,310 株	28年3月期	235,267 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	19,032,454 株	28年3月期2Q	19,162,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続を実施中ではありません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では主要経済指標に一部弱さが見られるものの雇用が堅調に推移するなど緩やかな回復基調となりましたが、中国では生産・消費などの伸びが縮小し景気減速が長期化傾向にあり、その他のアジア諸国の景気も伸び悩む展開となりました。国内経済においては、雇用情勢は回復傾向にあるものの、個人消費や設備投資は力強さを欠き、円高に伴う企業収益への影響が見られるなど、先行き不透明な展開が続いております。

このような環境の下、情報電子事業では増収となり、ライフサイエンス事業では前年同期並みの売上を確保したものの、建築資材事業で減収となったことから、当社グループの売上は前年同期比で微減の展開となりました。

損益面では、生産効率の向上、高付加価値製品の販売強化、コスト削減などに努めたものの、減価償却費を中心とした台湾連結子会社における固定費の増加、米国連結子会社の新工場立上関連費用の増加、研究開発費の増加、戦略的固定費の増加などがあったことにより、前年同期比で減益となりました。

その結果、当連結会計年度における業績は、売上高470億26百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益34億96百万円（前年同期比19.3%減）、経常利益35億16百万円（前年同期比18.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億75百万円（前年同期比22.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ライフサイエンス事業)

食品用包装材ならびに医薬・医療用包装材では減収となりました。また、液体容器では不採算部門の解消を進めたことなどにより大きく減収となりました。その一方で、生活用包装材において詰替用スタンディングパウチの拡販により売上を伸ばしたことに加え、国内連結子会社の商品販売が増加したことにより、事業全体としては前年同期並みの売上を確保しました。

この結果、売上高は227億98百万円（前年同期比0.03%増）となりました。

(情報電子事業)

プロテクトフィルムについては、台湾子会社では量産体制を整え増収を確保したものの、業界における販売単価下げや生産調整の影響等を受け、全体としては売上がやや伸び悩む展開となりました。剥離フィルムは、中国スマートフォン向けを中心に堅調に推移いたしました。情報記録用材については、パソコン・サーバー向け、ならびにスマートフォン向けで増収となりました。

この結果、売上高は182億87百万円（前年同期比0.9%増）となりました。

(建築資材事業)

建材関連においては、空調用配管の売上は堅調に推移しましたが、煙突工事及び集合住宅向けボイドスラブ（床構造部材）の売上は前年を下回りました。土木関連については、トンネル用資材の売上が減少いたしました。

この結果、売上高は59億40百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、有形固定資産などが減少しましたが、現金及び預金、売上債権、短期の有価証券などが増加したことに加え、PT Kingsford Holdingsの株式の取得に伴い無形固定資産が増加したことなどにより、前年度末に対して56億79百万円増加の942億3百万円となりました。

負債につきましては、未払金などが減少しましたが、借入金、仕入債務などが増加したことにより、前年度末に対して28億80百万円増加の375億23百万円となりました。

純資産は、非支配株主持分25億6百万円を含めて566億80百万円となり、自己資本比率は57.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社はヘルスケア事業のグローバル展開のため、PT Avesta Continental Pack（所在地インドネシア）と PT Indogravure（所在地インドネシア）を傘下に持つ PT Champion Pacific Indonesia Tbk（所在地インドネシア、以下 Champion）を買収する為に、Championの79.42%の株式を保有する PT Kingsford Holdings（所在地インドネシア）の全株式の60%を取得し子会社化しました。これにより、当第2四半期連結会計期間において、PT Kingsford Holdings及びその子会社3社を連結の範囲に含めております。また、取得日を同社の第2四半期末日の平成28年6月30日とし、当第2四半期連結会計期間におきましては、貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

このことが当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に及ぼす影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,949	7,403
受取手形及び売掛金	27,715	30,112
有価証券	6,898	7,898
商品及び製品	3,453	3,212
仕掛品	1,224	1,249
原材料及び貯蔵品	2,239	2,563
繰延税金資産	701	654
その他	1,472	1,689
貸倒引当金	△6	△7
流動資産合計	49,647	54,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,670	35,172
減価償却累計額	△19,118	△19,727
建物及び構築物 (純額)	15,551	15,444
機械装置及び運搬具	48,044	49,540
減価償却累計額	△39,633	△41,192
機械装置及び運搬具 (純額)	8,410	8,347
工具、器具及び備品	5,318	5,790
減価償却累計額	△4,646	△5,049
工具、器具及び備品 (純額)	672	740
土地	5,848	5,884
建設仮勘定	2,460	1,855
その他	14	6
減価償却累計額	△13	△2
その他 (純額)	0	3
有形固定資産合計	32,944	32,276
無形固定資産		
のれん	571	1,792
その他	741	618
無形固定資産合計	1,312	2,411
投資その他の資産		
投資有価証券	3,669	3,750
繰延税金資産	430	481
その他	556	544
貸倒引当金	△37	△36
投資その他の資産合計	4,619	4,740
固定資産合計	38,876	39,427
資産合計	88,524	94,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,531	19,755
短期借入金	1,320	4,214
未払金	3,356	2,965
未払法人税等	1,444	1,473
賞与引当金	1,419	1,411
役員賞与引当金	118	43
その他	1,502	1,415
流動負債合計	28,693	31,279
固定負債		
長期借入金	313	498
繰延税金負債	507	485
退職給付に係る負債	3,977	4,188
役員退職慰労引当金	487	493
その他	662	577
固定負債合計	5,948	6,244
負債合計	34,642	37,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,600	6,600
資本剰余金	7,654	7,654
利益剰余金	37,263	38,805
自己株式	△501	△501
株主資本合計	51,017	52,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,089	1,165
為替換算調整勘定	1,023	366
退職給付に係る調整累計額	△200	△180
その他の包括利益累計額合計	1,912	1,351
新株予約権	236	263
非支配株主持分	715	2,506
純資産合計	53,881	56,680
負債純資産合計	88,524	94,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	47,080	47,026
売上原価	35,922	36,570
売上総利益	11,158	10,456
販売費及び一般管理費	6,826	6,959
営業利益	4,332	3,496
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	91	70
受取保険金及び配当金	47	81
その他	76	91
営業外収益合計	219	251
営業外費用		
支払利息	7	17
売上割引	19	16
為替差損	198	189
その他	7	8
営業外費用合計	232	231
経常利益	4,319	3,516
特別利益		
固定資産売却益	-	1
投資有価証券売却益	53	42
特別利益合計	53	43
特別損失		
固定資産売却損	-	43
固定資産除却損	4	2
投資有価証券売却損	9	-
事業構造改善費用	32	-
特別損失合計	47	46
税金等調整前四半期純利益	4,326	3,513
法人税、住民税及び事業税	1,475	1,327
法人税等調整額	18	△16
法人税等合計	1,494	1,311
四半期純利益	2,831	2,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,813	2,175

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	2,831	2,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	77
為替換算調整勘定	612	△700
退職給付に係る調整額	12	20
その他の包括利益合計	382	△602
四半期包括利益	3,214	1,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,141	1,614
非支配株主に係る四半期包括利益	73	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,326	3,513
減価償却費	1,836	2,202
のれん償却額	33	31
株式報酬費用	27	27
受取利息及び受取配当金	△96	△78
支払利息	7	17
有形固定資産除売却損益 (△は益)	4	44
事業構造改善費用	32	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△44	△42
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	112	41
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	△4
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△61	△75
売上債権の増減額 (△は増加)	△883	△1,201
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△176	496
仕入債務の増減額 (△は減少)	△900	△441
その他	△131	124
小計	4,076	4,661
利息及び配当金の受取額	96	78
利息の支払額	△7	△15
法人税等の支払額	△2,024	△1,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,141	3,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	20
有形固定資産の取得による支出	△4,150	△2,262
有形固定資産の売却による収入	0	94
無形固定資産の取得による支出	△26	△29
投資有価証券の取得による支出	△13	△10
投資有価証券の売却による収入	128	84
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	-	△1,313
短期貸付金の増減額 (△は増加)	0	△0
長期貸付けによる支出	-	△1
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	22	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,037	△3,419
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	3,594
長期借入れによる収入	-	300
長期借入金の返済による支出	△427	△485
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△574	△628
非支配株主への配当金の支払額	△15	△21
その他	△14	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,032	2,737
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,878	2,473
現金及び現金同等物の期首残高	11,083	12,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,205	15,251

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,791	18,122	6,167	47,080	-	47,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	127	612	42	783	△783	-
計	22,919	18,735	6,210	47,864	△783	47,080
セグメント利益	1,221	2,877	232	4,332	-	4,332

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフ サイエンス	情報電子	建築資材	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,798	18,287	5,940	47,026	-	47,026
セグメント間の内部 売上高又は振替高	117	404	40	562	△562	-
計	22,916	18,692	5,980	47,589	△562	47,026
セグメント利益	1,350	1,922	223	3,496	-	3,496

(注) 1. 売上高の調整額はセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフサイエンス」セグメントにおいて、PT Kingsford Holdingsの株式を取得し子会社化したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,338百万円であります。なお、のれんの増加額は当四半期連結財務諸表作成時点で入手可能な合理的な情報に基づき、暫定的に算定された金額であります。